

石川町

# 議会だより

No. 186

平成28年 2月1日

発行／石川町議会  
編集／石川町議会広報  
編集特別委員会



▲飛翔（撮影：添田義弘氏）

2015  
**12**月定例会

---

P2 **12月定例会審議結果**

---

P4 **紙上中継**（各常任委員会）

---

P5 **12月定例会一般質問**

---

P11 **あれからどうなった？**  
（一般質問のその後は）

# 新石川小学校屋内運動場 建築決まる

12月  
定例会



▲石川小学校屋内運動場建築工事安全祈願祭

平成27年12月定例会は、12月10日から16日までの7日間の会期で開かれ、条例改正2件、補正予算6件、路線の町道認定1件、契約の締結1件、請願4件の合計14件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。  
一般質問には、6人の議員が登壇し、町政を問いました。また、34人の傍聴がありました。

## 審議された議案

### 議案第79号

石川町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例  
社会保障及び税に関する事務における特定個人情報授受など、個人番号の利用に関し必要な事項について、条例を定めるものです。

### 議案第80号

石川町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例  
行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、法人番号の取り扱いについて明示するため、所要の改正を行うものです。

### 議案第87号

路線の町道認定について  
町道3076号線と主要地方道須賀川・古殿線を結ぶ、地域の生活道路

としての利用頻度が高い重要な路線であることから、町道3077号線として認定するものであります。

### 議案第88号

新石川小学校屋内運動場建築工事請負契約の締結について  
制限付き一般競争入札により、3億2940万円、村越建設㈱が落札したことに伴い、工事請負契約を締結するため議会の議決を求めるものです。

## 各会計補正予算の 主なもの

### 一般会計

新庁舎建設事業費に、1億6506万円、保険基金安定負担金算定基準改正に伴い、国民健康保険特別会計繰出金に3049万8000円、水稻の放射性セシウムに係る対策として、放射性物質吸収抑制対策事業補

助金に944万円を増額するものです。

### 国民健康保険特別会計

基金積立金、償還金等を増額計上するほか、一般被保険者療養給付費、介護納付金等を減額し総額で142万4000円を減額するものです。

### 介護保険特別会計

償還金等を増額計上し、保険給付費等を減額計上するなど、会計全体で1854万3000円を減額するものです。

### 簡易水道事業特別会計

固定資産台帳整備業務委託料などに524万3000円を増額するものです。

### 宅地造成事業特別会計

工業団地の看板作成業務委託料に89万8000円増額するものです。

# 審 議 結 果

議案番号	議案	番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議長
		議決結果	根本重泰	近内雅洋	瀬谷寿一	小木芳郎	増子美知夫	草野伝明	関根武一	渡辺実	瀬谷京子	永沼一夫	矢内義将	中村孝太郎	山田英重	下山田和雄
議案第79号	石川町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第80号	石川町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第81号	平成27年度石川町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	-
議案第82号	平成27年度石川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第83号	平成27年度石川町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第84号	平成27年度石川町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第85号	平成27年度石川町宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第86号	平成27年度石川町水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第87号	路線の町道認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第88号	新石川小学校屋内運動場建築工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願第10号	公立小中学校の教職員数の充実・確保のための意見書の提出を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願第11号	北須川・今出川の河川名称の変更を求める請願書	継続審査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
請願第12号	「TPP参加に反対し情報公開と国会審議の徹底を求める」意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願第13号	「沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求める」意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第15号	公立小中学校の教職員数の充実・確保を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第16号	TPP参加に反対し情報公開と国会審議の徹底を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第17号	沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

## 議員発議を可決

### 発議第15号

公立小中学校教職員数の充実・確保を求める意見書

1、子どもたちへのきめ細やかな指導を維持・向上させるために、公立小中学校の教職員数を充実・確保すること。

### 発議第16号

TPP参加に反対し情報公開と国会審議の徹底を求める意見書

1、政府はあらゆる関連文書及び農林水産をはじめ国内産業に与える影響額の試算などを直ちに公表すること。  
2、あらゆる情報を開示した上で国会で徹底した議論を行い、拙速かつ安易な署名や承認を行わないこと。

### 発議第17号

沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求める意見書

1、辺野古新基地建設工事及び海底調査をただ

## 閉会中の継続審査

### 請願第11号

北須川・今出川の河川名称の変更を求める請願書

12月定例会において、総務産業建設常任委員会へ付託された「請願第11号 北須川・今出川の河川名称の変更を求める請願書」について、更に慎重な審査が必要であると決定し、閉会中の継続審査申出書を提出し本会議最終日に決定されました。





▲イノシシによる農作物被害が増えています

総務産業建設常任委員会

**Q** アップできないか  
イノシシ捕獲報償金

**A** 次年度に検討します

**Q** 有害鳥獣被害防止対策報償金の差額の内容は。  
**A** イノシシ捕獲に対する報償金については、1

頭捕獲につき1万5千円を支給しておりますが、11月から3月の狩猟期間については、福島県からイノシシ捕獲管理事業補助金8千円が支給されるため、1頭捕獲につき2万3千円の報償金を支給しています。

現在、イノシシによる農作物等の被害が拡大しており、対策に苦慮しているところですが、被害防止には、くくりわなや箱わなによる捕獲や電気柵等の防護柵による侵入防止対策が考えられますが、根本的には、個体数を減らすことが肝心と考えます。

石川管内の町村については、年間を通し、イノシシ1頭あたりの捕獲報償金が2万円となっておりますので、本町においても次年度以降、検討して行きたいと考えています。

文教厚生常任委員会

**Q** 地方創生・先行型で実施する親子ふれあい広場とは

**A** 中谷自治センターにおいて、小学校3学年までを対象とした、親子のふれあいの場です

**Q** どうして、会場が中谷自治センターなのか。

**A** 現在、中谷自治センターでは、就学時前の親子を対象とした子育てサロンを年間約30回実施していることから、遊具などの備品関係が充実しており共有

することができま。また、施設面でも整っていることから、中谷自治センターで開設する計画となりました。

**Q** 旧石川小校舎が文教福祉複合施設に改修されるれば、中谷で開設される



▲望まれる常設の子育てサロン

子育てサロンはどのようなのか。  
**A** 改修される文教福祉複合施設に移り、子育てサロンや子ども遊び場を常設できるように考えています。

# Q 石川町内の公共施設を含めた将来設計は

## A 機能の集約と再配置により、利便性と賑わいを

根本 重泰議員



**石川バイパスの進捗状況について**

**質問** 工区（石田地内、母畑線）の進捗状況は。  
**答弁** 平成30年度前半の供用を目指しています。  
**質問** 2工区の1（母畑線、双里地内）の進捗状況は。  
**答弁** 用地買収、家屋保証を進めています。  
**質問** 2工区の2（双里地内、形見地内）の計画は。  
**答弁** 平成28年度早々に地元説明会を開催、ルート計画を提示します。

**企業誘致について**

**質問** 企業誘致対象地は  
**答弁** 藤沢工業団地の3・2haと、中野地内の工場跡地です。  
**質問** 誘致の方法は。  
**答弁** 企業へ直接訪問と、県や出先機関、一般財団法人日本立地センターなどへ訪問しています。  
**質問** 平成26年度の誘致活動の内容は。  
**答弁** 企業への訪問6社で延べ11回、関係機関への訪問6機関で延べ30回、既存企業の本社訪問9社で延べ18回、セミナーへの参加4回。経費は188万円です。

**石川町内の公共施設を含めた将来設計は**

**質問** 旧石川小学校用地の活用計画は。  
**答弁** 文教福祉複合施設として使用します。西校舎は解体、東校舎は耐震補強や改修して使用します。1階は、子ども支援セ



▲文教福祉複合施設として活用される旧石川小学校

ンター（放課後児童クラブ、子供遊び場など）、2階は、生涯学習センター（公民館機能、図書館など）、3階は、閲覧可能な歴史資料センター。体育館は公民館として、平成30年度開館目標としています。  
**質問** 旧福島県合同庁舎用地はどうなるのか。  
**答弁** 解体し子育て世代・若者向け町営住宅8戸建設を予定しています。

（平成28年度解体、平成29年度公営住宅建設予定）  
**質問** 石川町役場本庁舎跡地計画は。  
**答弁** 建物を解体し、平成28年度に、お祭広場・駐車場にする予定です。  
**質問** 石川町役場分庁舎跡地はどうなるのか。  
**答弁** 建物を解体し、公共駐車場の予定です。  
**質問** 旧森林技術センター用地は。

**答弁** 現在の合同庁舎4事業所（石川地方町村会、石川福祉会、石川地方職業相談室、老人クラブ連合会）が、平成28年度に移転する予定です。  
**質問** 石川町公民館・体育館・資料館用地は。  
**答弁** 公民館は改修し平成30年度には、石の博物館にする予定です。  
 歴史民俗資料館は、本町民俗資料展示。体育館は、解体し平成29年度に駐車場とする予定です。

**質問** 「まちの駅」構想について伺う。  
**答弁** 平成30年度以降、今出川の改修時期と連動して進めていきます。  
**要望** 役所は、計画を策定するとそれを実行することにとられすぎていくように思える。町民が進んでまちづくりに参加しようと思えるよう、幅広い年代層・多様な事業者との意見交換の場を数多く持つて欲しい。それこそが協働のまちづくりだと思ふ。



草野 伝明議員

## Q 若者へのさらなる定住促進対策は

## A 住宅取得支援や子育て支援の充実

**質問** 人口減少問題、若者への定住促進対策は。

**答弁** 若者の流出を少しでも抑制し定住を促進するための対策については、若者向けの住宅政策、子育て世代へのサポート体制の充実と経済的負担の軽減措置、経済的な自立と安定を図るための雇用の場の確保を中心に考えています。

まず住宅政策については、子育て世帯や若者世帯に対する住宅取得への支援を行います。次に子育て支援については、子育てサロンや放課後児童クラブ等の拡充を図るため、旧石川小学校を改修し文教福祉複合施設の整備を進め、これらの機能を集約した「子ども支援センター」を設置し、満

足度を高める施策を進めます。

また親の経済的負担を軽減するため、給食費の半額補助を継続するとともに、平成27年度に続き一部保育料の見直しを図

ります。

働く場の確保については、企業誘致の活動を進めるほか、若者や女性によるソーシャルビジネスを含む創業への取り組みを支援するなど、新たな

雇用の場の創出に努めていきます。

**質問** 藤沢工業団地への企業誘致活動は。

**答弁** 藤沢工業団地の残り3・2haについては、隣の工場にぜひお願いしたいという要望はしていますが、まだ結論は出ていません。ただ2、3

の企業から申し出があり、話し合いに応じている段階です。まだ時間がかかるかと思いますが、引き続き努力してまいります。

**質問** ふるさと納税、使用目的と本町のPRについて。

**答弁** 使用目的については「石川町ふるさとまちづくり応援寄附条例」において、自然景観の維持、町の資源の整備、住民自治の醸成、文化・スポー

ツの振興など4つの区分で定めています。また本町のPRについては、本年12月からインターネット上のふるさと納税専門サイトに掲載し、全国に向けPRを図っているところ です。

**質問** 返礼品の選定について。

**答弁** 返礼品は「本町の魅力をPRできるもの」「地域産業の振興につながるもの」などの観点から選定を行い、牛肉加工品、日本酒、温泉宿泊券を返礼品としています。今後は、米や、いしか

わ牛などの農産物等についても、返礼品として選定できないか、引き続き関係事業者と協議してまいります。

**Q** スケートセンター今後の運営方針は

**A** メンテナンスしながら維持管理に努める

**質問** 石川スケートセンター今後の運営方針は。

**答弁** 施設全体の老朽化をはじめ、スケートリンク用の冷凍機等の機械についても耐用年数が経過しており、毎年メンテナンスを実施し、施設の維持管理に努めています。今後、施設の大規模な改修が発生した時点で、施設の廃止を考えています。

**要旨** ふるさと納税の使用目的に、スケートセンターの改修と存続をPRし、資金を調達しながら永く運営できるよう要望します。



▲おいしい給食で子どもたちの成長を

# Q ふくしまDCの成果は

## A 本町の経済効果は約3,500万円

瀬谷 寿一議員



**【質問】** デステイネーションキャンペーン(DC)の成果を活かし温泉旅館だけに頼らない観光を。

**【答弁】** DCで掘り起こした観光素材を基に参加体験型、本物指向型観光などニーズに対応した取り組みを目指したい。福島空港の有効活用も検討します。

**【要望】** 商業、農業、地域と連携したまちなかツーリズムやグリーンツーリズムの準備を進めて欲しい。

**【質問】** 歴史文化資産を観光に活かすための調査は。

**【答弁】** 平成28年度の事業として文化庁の「歴史文化基本構想策定支援事

業」を要望しており、策定委員会を組織して調査活動を行う考えです。

**【質問】** 観光交流情報の発信力強化は。

**【答弁】** スマートフォンの活用、漫画家とのタイアップ、PRグッズの作成、ホームページの刷新などを行います。

**【質問】** 情報発信に町ゆかりの人材を任命する「キララ大使」の制度活用は。

**【答弁】** 十分検討します。

**【要望】** 地方創生戦略プランに位置づけられている観光の産業化の推進をするためにも民間の力を活用した「観光物産協会」の改革・強化を要望します。

**Q** イノシシ増加の原因は  
**A** 里山の荒廃と原発事故による影響が大きい。

**【質問】** イノシシ対策は。

**【答弁】** 個体を減らす事が有効な手段の一つです。

**【質問】** ハンターに意欲を持ってもらうために捕獲報奨金の倍額アップや鳥獣被害対策実施隊への助

成金増額の考えは。

**【答弁】** 倍額を約束はできないが早急に検討します。

**【質問】** 電気柵等のイノシシ対策は、隣接町村との連携を強化し早急な取り組みを。

**【答弁】** イノシシの問題等は、5町村長の中でも話題になっており、近隣町村との連携を密にしてい

**Q** 今出川中止対策事業は  
**A** 県と連携を強め事業の推進に努める。

きます。

**【質問】** 町道県道の対策は。

**【答弁】** 町道3042号線については計画的に整備を行っている。県道2路線についても日陰

対策や幅員狭少箇所の解消、視距改良、線形改良、縦断勾配解消等の工事を行っています。

**【質問】** 県道石川鴉子線は暗くて危険だ。防犯灯のLED化と増設を。

**【答弁】** LED化は、再来年までに実施します。

**【質問】** 町道の日陰対策は。

**【答弁】** 行政区との連携を図り、地権者、地域住民の理解と協力を得て推進します。



▲「もみじ谷」中田迎高野地内

**【質問】** 今出川渓流と町道209号線の観光利用は。

**【答弁】** 観光の活用が出来るよう河川管理者(県)との連携を図り、樹木の管理や道路から渓流が展望できる箇所などの設置等自然に配慮した整備も検討します。

**【質問】** 北須川、今出川、中田川の渓流を「春さくら谷」「秋もみじ谷」となるような整備を。

**【答弁】** 源平山、八幡山、石尊山など石川五山の散策ルートと連携した取り組みを2～3年の間にやりたいと考えています。



関根 武一議員

## Q 沢田小体育館のトイレ整備は

## A 平成28年度に予算計上し早急に対応

し、早急に対応していき  
たいと思っています。

**質問** 沢田小学校体育館のトイレは、現在、水洗式ではなく、臭い等の問題があり保護者から苦情が出ている。

一般家庭においてもトイレの水洗式が主流となっている中で、学校施設のトイレ環境の整備は必要だと思っが。

**答弁** 小中学校統合により小学校3校、中学校1校に集約されました。今後は計画的に子ども達によりよい施設環境で学習に取り組めるよう、各学校施設の整備を行っていく予定です。沢田小学校の体育館のトイレについては、汲み取り式であり、臭い等、衛生面からも施設改修が必要な状況であるため、平成28年度当初予算に施設改修費を計上

### Q 町道1149号線の整備、今後の対応は A 前向きに検討

基ついで前向きに検討していき  
たいと思います。

**質問** 町道1149号線は、道幅が非常に狭く急カーブがあるため前方の見通しが悪く非常に危険な道路であり、更に周辺には住宅が点在し交通量も多い。今後の整備についての考え方は。

**答弁** 町道1149号線は、沢井字大山平地内から大日原地内を結ぶ狭い道路ですが、地域の重要な生活道路であると認識しております。この路線の整備については、拡幅等の整備が必要と考えており、今後、年次計画に

### Q 本町の除雪体制は A 降雪15cmで除雪を実施

早期に、計画的に整備を図っていく事を要望します。

**質問** 近年1回の降雪で大変な大雪になることが多く、それに対応する除雪体制の整備が課題となるが、本町の除雪体制は。

**答弁** 町内の除雪体制は、生活道路及び通学路の安全を迅速に確保するため、除雪業務を契約した地元

建設業者15社と雪害時の連絡体制を確立し、概ね15cmの降雪があった場合に除雪を実施しています。主要幹線を初め学校や公共施設周辺の路線を優先し対応しています。また、歩道の部分については地域住民のご協力をお願いしている状況です。

**質問** 学校周辺の歩道の除雪は、登下校時の児童生徒達の安全確保を考えると必要である。

**答弁** 学校周辺の歩道の除雪は、登下校時の児童生徒達の安全確保を考えると必要である。手押し対応の除雪機等を、学校単位で用意してはどうかと思うが検討してほしい。



▲除雪は降雪15cmで出勤します。

# Q 審議会等の女性割合25%の推進は

## A 全課が男女共同参画を推進し、努力する

渡辺 実議員



**【質問】** 男女共同参画プランの骨子は。  
**【答弁】** 性別にかかわらず、自分らしく生きる意識づくりの推進、あらゆる分野で男女が活躍、男女間の暴力の根絶、性別による役割分担意識や慣習の見直し、男女が共に活躍できる環境づくりの推進です。  
**【質問】** 推進委員会設置は。  
**【答弁】** 11月27日に設置しました。  
**【質問】** 県は県知事が本部長である。町長がトップで推進する考えは。  
**【答弁】** 今は考えていない。  
**【質問】** 意識改革には教育が大事、社会教育の分野で推進する考えは。

**【答弁】** 推進します。  
**【質問】** 審議会等の女性の割合を25%に引き上げる取り組みは。  
**【答弁】** 全ての課が参加推進する中で努力します。  
**【質問】** 男女間暴力の相談は。  
**【答弁】** 毎年数件あります。  
**【質問】** 町の女性職員の幹部登用の考えは。  
**【答弁】** 現在管理職の15%が女性で、今後も勤務成績や能力に基づき登用します。  
**【質問】** 60年間、一人の課長も出ていない。職員の意識改革や研修が大事であり、考えは。  
**【答弁】** 女性課長も出ないといけない。  
**【質問】** 学校での男女混合名簿採用の考えは。  
**【答弁】** 小学校は全校で採用。中学校は平成22年度から卒業台帳に採用し、今後、基本名簿を男女混合名簿とするよう指導していきます。



▲石川産、鉄電気石

**Q 廃校利用、もっと地元との懇談を**  
**A 足を運び、一緒に考える**  
**【質問】** 廃校の活用で地元からの要望と対応は。  
**【答弁】** 5月に母畑、中谷山橋、沢田の区長さんに説明会を開催。一部から要望もあり、検討中です。  
**【質問】** もっと地元との懇談を進めるべきでないか。  
**【答弁】** 足を運び一緒に考える姿勢で対応します。  
**【質問】** 今後の進め方は。

**【答弁】** 廃校活用基本方針をもとに進めます。旧石川小は文教複合施設として、中谷第一小は行政文書等保管場所として活用します。  
 地域の活性化や雇用創出につながる場合は、地元の合意をもとに民間活用も検討します。  
**Q 鉱物館の建設目的は**  
**A 日本三大鉱物の産地として、独立館を設置**  
**【質問】** 鉱物館建設の目的と基本構想を伺う。  
**【答弁】** 日本三大鉱物の産地として、独立した鉱物館を設立し、十分な展示スペースの確保、石川産鉱物の特色が見学でき、体験学習や収集・調査研究ができる施設としたい。和久観音山鉱山跡との活用連携をします。  
**【質問】** 鉱山跡の調査保存の考えは。  
**【答弁】** 研究者の意見を聞き進めます。  
**【要望】** 町民の勉強会や見学会を開催してほしい。  
**【質問】** 検討委員会設置と専門職員配置の考えは。  
**【答弁】** 鉱物保護収集委員会を検討委員とします。専門職員は関係部門と協議し、対応します。  
**【質問】** 県立や国の施設として建設する考えは。  
**【答弁】** 進めていきます。  
**【質問】** 多額の寄付をされた故三森たか子先生の鉱物館への想いをどう受け止めているか。  
**【答弁】** 先生の想いを受け止め、今回着手しました。



中村孝太郎議員

Q 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に  
町民の意見をどう反映する

A 原案作成のあと町民の意見を公募

リックコメントを実施し、原案がまとまった時点で意見公募を行い、町民の意見を反映したいと思えます。住環境の整備や子育て支援のサポートなど充実を図りながら新たな雇用の創出のため、まちづくり計画との整合性を図りながら実効性ある取り組みをしていきます。

先ごろ、若いお母さんたちから、子どもたちと自由にご利用できる施設や場所がなく、町外に行くしかありません。子どもたちやお母さんたちが交流する場もなく、どうにかならないかと言われました。子育て世代と子どもたちの親子・親同士・子どもたちが自主的に交流できる場、子どもたちが安心して遊べる公園や施設などの環境整備を伺う。

Q 非正規職員の賃金改善を  
A 経済環境などの変化に適切に対応

【質問】 平成27年度の最低賃金の引き上げ額目安が16円から19円に決まりました。公務員給与も月例給1469円、0・36%、一時金0・1か月分の改善が人事院勧告どおり、閣議決定されました。非正規労働者の賃金改善も当然であり、石川町役場の非正規職員の賃金改善を伺う。

Q 子育て世代や子どもたちが自由に交流できる環境の整備が遅れている  
A 旧石川小に子ども支援センターを設置、公園の整備を進める

【質問】 石川町は、子どもやお母さんが何時でも自由に自主的に利用できる施設などの子育て環境整備が不十分な気がします。



▲どうする人口対策

【答弁】 目的は、本町の人口減少や地域課題の現状を調査・分析、安心して生活を営める地域社会の形成、地域社会を担う個性豊かな人材育成、多様な就業の機会を創出することにあります。町民の多様な意見を反映するため、町内在住・町外転出者のアンケートを実施し施策立案の参考としました。素案作成のためパブ

【答弁】 今後も社会経済環境の変化や近隣市町村の状況、民間企業の賃金水準を踏まえ、適切に対応します。

あれがどうなった？

# 一般質問のその後は

平成26年12月  
定例会より

## どう取り組む6次化

●「6次化について、農業団体や商工業関係者など、組織化を図り基盤整備する必要があるのではないか」の質問に対し、「非常に大事なことであり、各地域で取り組んでいます。助成の問題等、町でも関わりを持っていかねければならないと考えます」との答弁であったがその後は。

●本町を含む石川地方農業振興協議会では、平成22年度よりいしかわ牛商品開発検討委員会を発足し、いしかわ

牛を使用した食品の開発と販路先の拡大を図っている。

現在では、「いしかわ牛ビーフシチュー」、地元産の味噌を使用した「いしかわ牛味噌カレー」及び「いしかわ牛ストロガノフ」の3種類の食品を開発し、

あぶくま安心館や石川郡内の道の駅で販売するとともに、県内外の各種イベント等に出展し、販売促進を図っている。



▲共励会(東京都食肉市場)

## できるのか学校給食半額補助

●「小中学校の給食費の半額補助は」の質問に対し、「平成27年度から半額補助を計画します」との答弁であったが、その後は。

●町では、子育て支援策の一環として、平成27年度より町立の小中学校に通う児童生徒の保護者を対象に、学校給食費の半額補助を実施しています。各小中学校長が代表となり、対象となる保護者の委任を受けて、町からの補助金を受けております。

なお、支給額は小学生については一人当たり年間約2万5300円、中学生においては

います。また、町では地域農産物6次化推進事業により6次化に取り組む事業者が行う、地場産農産物を活用した商品

より6次化に取り組む事業者が行う、地場産農産物を活用した商品

約2万7300円が支

開発や機器の導入に対して支援をしています。給されていきます。補助金支給総額は、約2746万5000円となっております。



▲情操教育の面からも大切な学校給食

# ガ・所 管事務調査

## 総務産業建設

### 常任委員会

総務産業建設常任委員会、文教厚生常任委員会で、今後の委員会活動、議員活動に生かしていくことを目的に所管事務調査を実施しましたので報告いたします。

#### 実施日

平成27年11月16日～17日

#### 研修先

- ・福島県湯川村
- ・福島県会津美里町
- ・福島県会津若松市七日町通りまちなみ協議会

#### ふるさと納税について

福島県湯川村において、「ふるさと納税」の運営方法、特産品の絞込み等について研修しました。湯川村では、ふるさと納税の返礼率を約50%とし、返礼品は地域産業の特性を生かして米に絞込



会津美里町役場前

み、湯川産米1俵贈呈という具体的で分かりやすい取り組みを行っていました。

本町においても町の素晴らしさを知ってもらおう機会と捉え、「こだわり」を持った取り組みの必要性を感じました。

#### まちなか活性化について

福島県会津美里町及び会津若松市七日町通りまちなみ協議会において、「まちなか活性化」について、デマンド交通シス

テム運行、交流サロン運営、これからのまちづくりの方向性等について研修しました。高齢者が増える中、交

## 文教厚生

### 常任委員会

#### 実施日

平成27年11月30日～12月1日

#### 研修先

- ・宮城県涌谷町
- ・宮城県仙台市子育てふれあいプラザ「のびすく仙台」

#### 地域包括医療ケアシステムについて

宮城県涌谷町において「地域包括医療ケアシステム」について、実施方法や効果、課題等について研修しました。

涌谷町では、総合病院を核に保健、医療、介護福祉をトータル的に運営

通弱者の足の確保、高齢社会に対応した商店街づくり等が今後の課題であるとのことでした。本町においても路線バ

しています。

本町でも、保健、医療介護、福祉分野の充実が町民が最も望んでいることの一つです。計画的に町に合った保健医療介護福祉システムの構築が必要と考えることがで

修となりました。

#### 子育て支援について

宮城県仙台市子育てふれあいプラザ「のびすく仙台」において、「のびすく仙台」の利用状況や活動内容について研修しました。

「のびすく仙台」では乳幼児親子が気軽に立ち寄り交流で

スやデマンド交通のあり方など、町に合った方策の検討が必要ではないかと考えさせられ、大変参考となる研修でした。

さる集いの広場、子育て支援に関する様々な情報の収集と提供、理由を問わない一時預かり等、子育ての本音を聞ける場となっています。

本町でも子育て支援センター開設の計画があるためこうした先進地事例を参考にし、充実した内容のものを検討する必要があります。



「のびすく仙台」

# 報告します 議会の活動

## 長い間、ご苦勞さまでした

12月18日、石川町役場において、町議会議員の任期満了に伴い、退職された大野峯氏、二瓶義雄氏、角田忍氏、関根信次氏、遠藤貢蔵氏、秋山茂雄氏の6名の方へ町から記念品が贈呈されました。退職された皆様には、議会議員として議会報告会や日曜議会の開催、一般質問に一問一答方式を導入するなど議会改革を實踐していただきました。このような活発な議会改革が認められ、平成22年に栄えある全国議長会表彰をいただきました。



▲贈呈式に出席の二瓶氏、大野氏、角田氏(右から)

12月18日、石川町役場において、町議会議員の任期満了に伴い、退職された大野峯氏、二瓶義雄氏、角田忍氏、関根信次氏、遠藤貢蔵氏、秋山茂雄氏の6名の方へ町から記念品が贈呈されました。

さらに、役場新庁舎建設問題や新石川小学校建設問題で、町も議会も大きく揺れ動く大変な時期にあっても、町民の代表者として方向性を示していただきました。

円滑なる議会運営と、町政に対する深いご理解のもとに、町政が着実に進展しましたことは、喜ばしい限りであり心から感謝いたします。長い間、ご苦勞さまでした。

## 地域課題対応のため研修

11月6日、マーヴェラス末広(玉川村)で開かれた石川町地方町村議会議員研修会は、石川地方の議員や町村長など68名が参加し、福島大学行政政策学類教授の垣見隆禎氏から「憲法・地方自治法にみる地方議会の位置づけ」について研修しました。



▲議会改革の動向を話す垣見教授

講演では、地方議会の位置づけとともに、議会改革の動向や議会活性化の方策など、自治体をめぐる最近の流れやポイントを押さえた話、先進事例の紹介をいただきました。

## 第8回臨時会 12月24日

第8回臨時会は12月24日に開催され「石川町役場新庁舎建設工事請負変更契約の締結について」審議されました。

当初、外構工事で施工予定していた一部を本体工事に追加するものです。

また、浄化槽及びオイルタンクには、新たに保護躯体を施工するもので、請負金額を5255万1720円増額し契約内容を変更するものです。

審議結果  
「可決」(全員異議なく)

# 未来に向かって!!



## ― 高校生の声 ―

県立石川高等学校

3年 味戸 一紗

### 夢をカタチに



味戸一紗さん

私は今、進学後の準備に取り組んでいます。特に大好きな英語の勉強に力を入れています。

友人達の影響で洋楽を聴くようになり、それがきっかけで英語に興味を持つようになりました。大学でも英語は一般教養の第一外国語として必修になっているので、今の時期のがんばりがとても大切になってくると思います。また、将来、外国に行っ

てみたいと考えているので、英文和訳や和文英訳のみならず、英会話もできるようになりたいと思っています。現時点では、ヒアリングもスピーキングも、自分の望むレベルには達していませんが、楽しみながら自分を追い込んでいきたいと考えています。

私が大学に進学することを決めたのは、高校2年の終わり頃でした。その時の私は、将来の目標や、やりたいことが全くと言っていいほど描くことができませんでした。もともと大学進学は頭にはなかったのですが、漠然と「卒業後は就職するのだろうか」と思っています。

進路を決めなくてはいけない時期が迫ってきたときに、ある意味はじめて、「このままでいいのか」と疑問を感じました。社会に出るために、明確な夢を持って生きていくために、自分には足りないものが多すぎると感じたのです。

学ぶことによつて初めて獲得できる視野、社会に貢献できる力があるはずだという境地に至ったのです。やりたいことや目標すらなかった私が、あの心持ちのまま就職しても、おそらくすぐにおそらく辞めてしまうだろうと思います。夢を持つために、夢を実現するための手立てを持つために、大学進学は必然の選択であったと思います。そこから大学研究や職業研究に努め、

公務員になりたい、そのために大学で行政学を学びたいと思うようになっていきました。自分の生まれ育った町に少しでも貢献したいという気持ちでそれまで以上に大きくなっていきました。目標が見つかったから受験に向けての勉強をするようになりました。新聞を読み、国際情勢や政治経済についての学習をしました。また、福島県や石川町の抱える諸問題についても調べ学習もしました。新聞を読む習慣がなかったため、最初



▲思い切り「石菜祭」を楽しむ味戸さん(右)

議会広報編集特別委員会	
委員長	根本 重泰
副委員長	瀬谷 寿一
委員	近内 雅洋
委員	小木 芳郎
委員	増子美知夫
委員	山田 英重

### 編集後記

2016年、平成28年がスタートしました。希望と不安の混在した幕開けだと思っています。2020年東京オリンピックに向けた準備が本格的に始動。これまでの最大規模となる国家予算。これらの裏に潜む財政問題や沖縄県普天間基地問題、国際テロ問題、TPP問題、震災復興問題、等々。

本町においては、新庁舎の開庁、地方創生戦略プラン、まちなか再生計画など総合的な定住対策が本格的にスタートします。なんとと言っても石川町に住みたくなる魅力をどうつくるか。誰かがつくるのではなく、町民一人ひとりの前向きな気持ちと行動の積み重ねが大事な時ではないでしょうか。

瀬谷 寿一